

# ゆっくりのんびり じっくり通り

## 生駒駅南口で街づくり社会実験

いすやテーブルが置かれたびっくり通り。1月27日、生駒市元町1丁目



店跡でのトークイベントなどを実施してきた。1月26、27両日にはびっくり通りやペDESTリアンデッキ(高架式の歩道)にテーブルやいすを置き、おしゃべりなどでくつろいでもらえる空間を設置したほか、近くの「さくら通り」(幅7.5m)にパイロンを置いて、歩行者が安心して歩けるようにした。

2、3両日にも予定しており、市拠点形成課では利用者や地元の反応を見て、常設化するなど、今後の街づくりに応用したいとしている。

(神田剛)

宝山寺(生駒市)の玄関口としてのにぎわいを取り戻そうと、同市は、ゆっくり歩いて滞在したくなる街を目指す社会実験を、近鉄生駒駅の南口周辺で続けている。

近鉄百貨店や再開発ビルなどがある北口に対し、南口周辺の「びっくり通り」には商店街があり、八百屋や団子屋など味わいのある

お店が並ぶ。しかし、商店経営者の高齢化や後継者不足でシャッターを下ろしたままの店が増え、レトロな風情で人気のあった近くの銭湯も廃業。一方でマンションの建設が相次ぐ。

市では昨年、商店街の関係者や地域住民らと街づくりのアイデアを練る「生駒駅南口エリアプラットフォーム」を立ち上げ、銀行支